

町内会単位による資源ごみ分別回収 循環型社会のまちを目指します!

各町内会では、ゴミの分別指導を徹底するための工夫を凝らしさまざまな取り組みをされています。今月号では、友楽町、新町町内会の取り組みについて、町内会長さんにコメントをいただきました。

全員参加で減量意識を高めよう!

昨年7月からモデル地区として、分別回収が始まりもう1年半が過ぎました。

分別回収では、当番に当たられた方には黄色のジャンパーを着ていただき一般の方と区別して、指導に当たりました。今では町内会が団結し回収日には町内会のコミュニケーションの場として、今まであまり話もしなかった町民同士の心の通い合う場となりました。作業は大変ですが、それ以上に大きな収穫がありました。町民1人1人が減量の意識が強くなり、回を重ねる事に、町内会が心1つになって来ると思います。



友楽町町内会長
山田 善夫さん



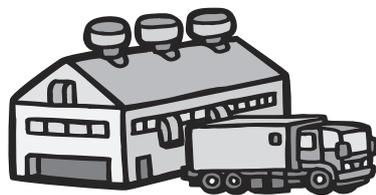
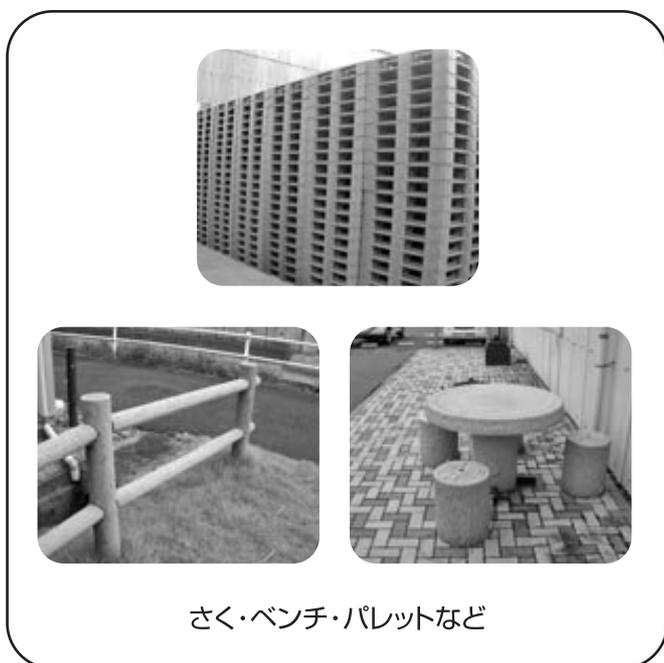
試行錯誤の1年半



新町町内会長
小川 圭治さん

資源ごみ分別回収は、町内会の皆さんの後押しで始まりました。試行錯誤の連続でしたが、皆さんの知恵で、本年4月の導入期から定着期へと移行できたと感謝しています。

テーマを「笑い顔で、確実に、安全作業」とし来年3月、当番も二巡します。また、異物混入や班単位の当番編成など課題は多くありますが、一步一步レベルアップを図りながら分別回収を定着させたいと考えています。



工場などで燃料として使用

製品(ペレット)



再商品化製品
利用業者にて